

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県矢掛町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 医師
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド訓	救臨輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
14,637	7,875	第2種該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
57	60	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	117
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
57	55	112

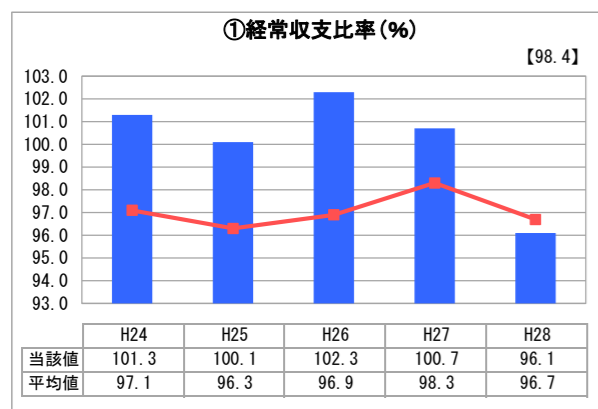
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

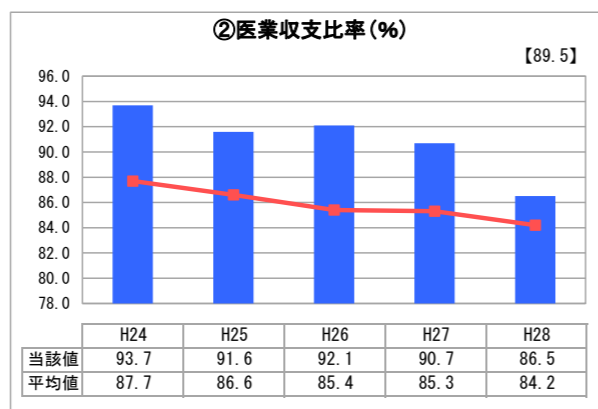
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

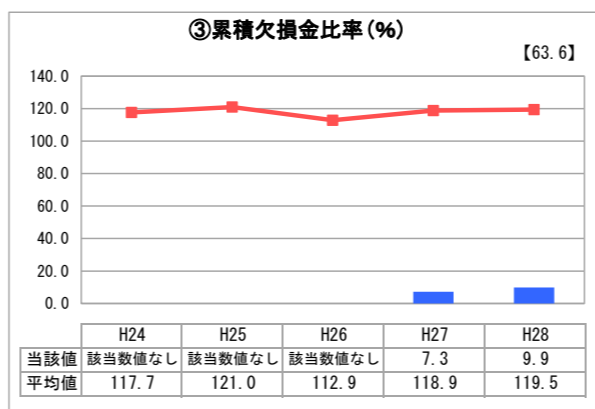
1. 経営の健全性・効率性



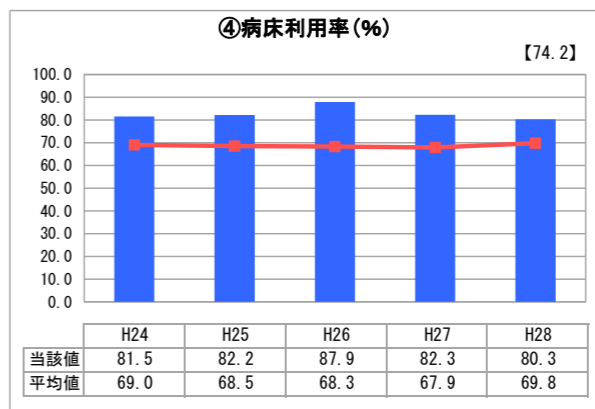
「経常損益」



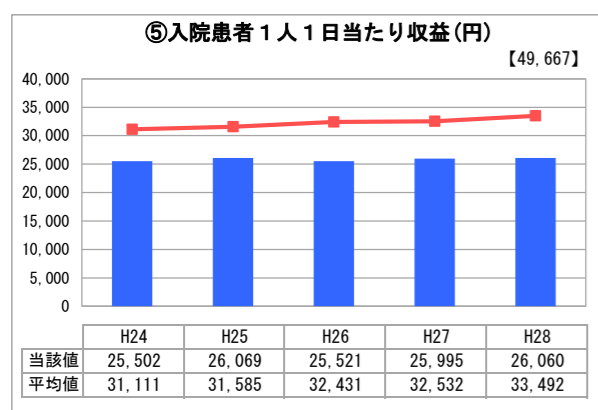
「医業損益」



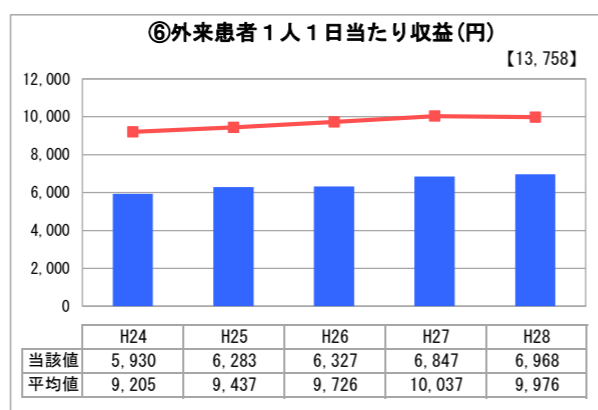
「累積欠損」



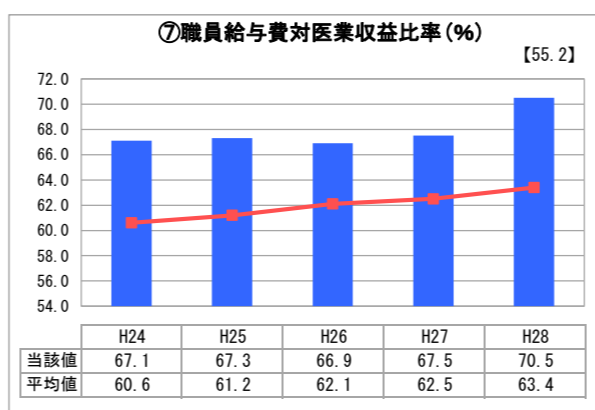
「施設の効率性」



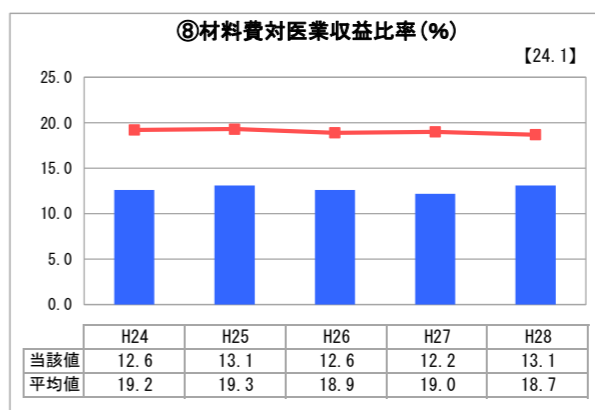
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

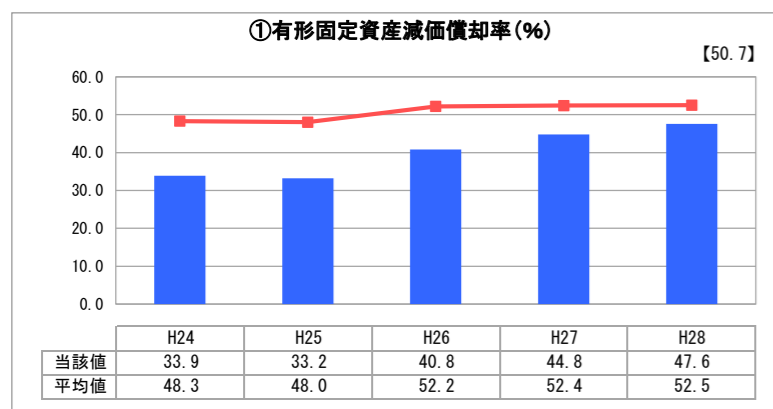


「費用の効率性①」

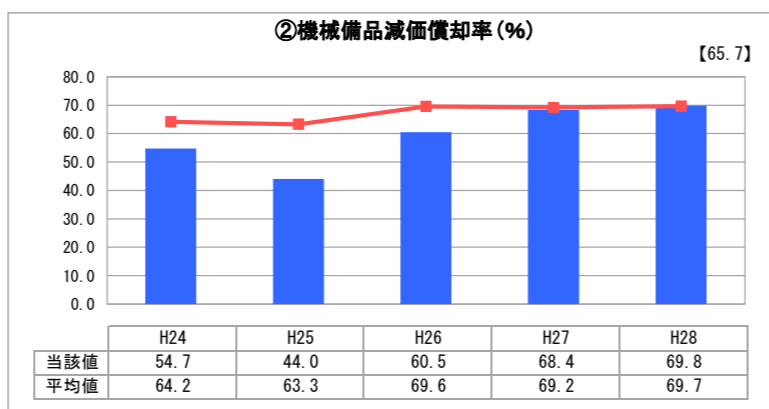


「費用の効率性②」

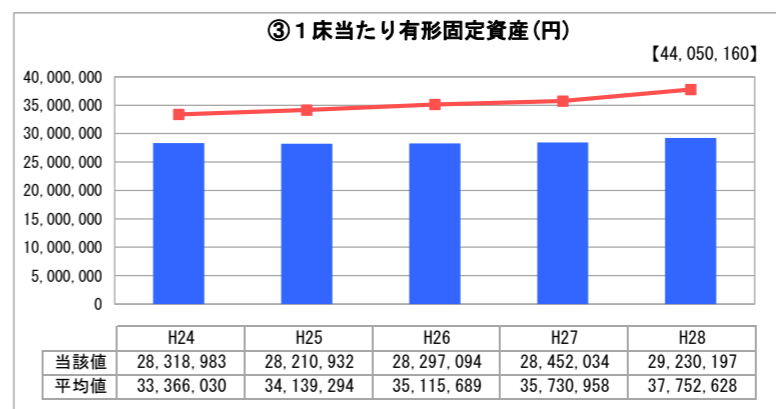
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

町内唯一の救急告示病院として、町内救急搬送の90%以上を受け入れており、町民の安心感、生活安定化に大きな役割を担っている。また、眼科・耳鼻科・婦人科など地域のニーズに合った医療の提供や、CT、MRI等の高度医療機器を使った高度・先進医療の提供も行っている。

そして、町内の診療所等と連携をとりながら地域包括ケアシステムの構築を図るなど、地域医療の中核病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度については、病床利用率は平均を上回っているが、医業収入の減及び人件費の増等により、赤字となった。当院は高齢で慢性疾患の患者が多く、患者1人1日当たりの単価が低くなっているが、平成29年度より病床機能の見直しや適切な病床運営により、医業収益の増を目指している。

2. 老朽化の状況について

建物については、平成17年に改築・改修工事を行い、建物自体は比較的新しい状況であるが、器械備品については経年で更新を行っていく設備もあるため、計画的に行っていく。

全体総括

28年度は経常赤字となり、医業収支比率も大幅に減となった。今後は経常黒字を目標として医業収入を増とするために必要な分析や、人員配置を見直し人件費を抑える等、収入の増と支出減の工夫が必要である。

また、平成29年度より、積極的な経営改革に取り組んでいる。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。